



元気とタイムリーな情報を提供する 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成29年05月01日 第817号「週刊五十嵐レポート」

目標設定

昨年末にテレビを見ていたら、日本ハムファイターズの大谷選手をテーマに野球の専門家たちが話をしていた。そこで大谷選手が高校1年生のときの目標達成表なるものがテレビに映った。それは見覚えのあるマンダラチャートだった。私は長くマンダラ手帳(株)クローバー経営研究所)を愛用している。

マンダラチャートは、中心核を持つ、 3×3 のマトリックスで、人生やビジネスの目標や計画を立てて実行するためのツール。大谷選手は既に高校1年生でこのマンダラチャートで人生計画を立てていた。驚きである。

(だから現在の大谷選手がいるのだが)

大谷選手の高校1年生で立てたメインの目標は、「8球団からドラフト1位指名」。そのために行なわなければならない項目は8つ。1つ目は、「コントロール」。2つ目は、「キレ」。3つ目は、「スピード160km」。4つ目は、「変化球」。5つ目は、「運」。6つ目は、「人間性」。7つ目は、「メンタル」。8つ目は、「体づくり」。高校3年生でドラフト1位を目指し(それも8球団)、160kmを投げることを考えていた。160kmは夢ではなく、目標だった。

注目したのは5つ目の「運」。運を良くするには、1つ目は「ゴミ拾い」。2つ目は「部屋の掃除」。3つ目は、「審判への態度」。4つ目は、「本を読む」。5つ目は、「応援される人間になる」。6つ目は、「プラス思考」。7つ目は、「道具を大切に使う」。8つ目は、「あいさつ」。恐れ入った。私は、「運」については40歳になってから意識し始めた。

「思考は現実化する」(ナポレオン・ヒル)によると、成功ノウハウは、第1の原則は、「明確な目標」。第2の原則は、「プラスアルファの努力」。第3の原則は、「調和の精神」。第4の原則は、「信念の現実化」。第5の原則は、「自己規律」。第6の原則は「自然の法則」。(大谷選手のマンダラチャートにはすべて含まれている)。高校時代の指導者に敬意を表す。

今の大谷選手の目標は?

「メジャーリーグ、20勝、20ホームラン」かな?

ちょっと
気になる出来事

「戦略社長塾東京」小岩校に久しぶりに参加された製造業M社長の話。

北朝鮮と米国の緊張関係で顧客の反応が変わってきたと。

以前は、アジアの生産基地から物資を日本に持ってきたところ、北朝鮮の動向により国内生産のあるサプライヤーに移行してきている。

平時から有事への対策が問われてきている。有事になった場合、海外から物資が来なくなると、国内の生産が止まってしまう。顧客はサプライヤーに対しても国内生産ができる先を探している。

外部環境は時々刻々変化しています。



一口メモ
知識

目標を具体化する

事業の定義は目標に翻訳しなければならない。

目標とは、第一に、「われわれの事業は何か。何になるか。何でなければならないか」という問い合わせから導き出される具体的な目標である。目標とは使命を実現するための公約であり、成果を評価するための基準である。目標とは事業にとって基本戦略そのものである。

第二に、目標は行動のためのものである。

第三に、目標は、資源と行動を集中させるためのものである。

第四に、目標は1つではなく、複数たるべきものである。

第五に、目標は、事業の成否に関わる領域すべてについて必要なものである。

目標は次の8つの領域において必要とされる。マーケティングの目標、イノベーションの目標、人的資源の目標、資金の目標、物的資源の目標、生産性の目標、社会的責任の目標、必要条件としての利益の目標である。

P.F.ドッカーラー「チャンジ・リーダーの条件」より

「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日 午前10時~12時

「戦略社長塾東京」小岩校 毎週水曜日 午前10時~12時

「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

株式会社五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051 東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

